

東高リベラルアーツ通信

No. 2

2025年10月29日発行



探究を進めるにあたり、生徒の皆さん・先生方から多くの質問をいただきました。

通信第2号は、その質問に答える形で発刊します。

これからも疑問点があれば、どんどん聞きましょう。

福島東高校は、生徒・先生が互いに学び合うために対話が互いに学び合う

『Interactive High School/対話型高校』ですから。



よくある質問

Q1：結局、何すればいいの？

A1：自分のテーマ（疑問）に対して、調べ学習ではなく活動（フィールドワーク、実験、アンケートなど）を通して仮説を検証します。

11月末までには、検証活動の計画ができているといいですね。

**Q2：探究のテーマは、①興味・関心から選ぶの？②進路から選ぶの？
③ゼミの先生のテーマから選ぶの？④研修旅行にリンクさせるの？**

A2：①～④のどれでも良いです。東高リベラルアーツは、分野にとらわれず、幅広い教養を横断的に学ぶことで、複雑な現代社会を生き抜くための総合的な人間力を養うものです。

Q3：どんなテーマがいいの？

A3：テーマが大きすぎる抽象的なものはダメです。

「AIについて」「地球温暖化について」「健康について」
では何を探究したいのか分かりません。

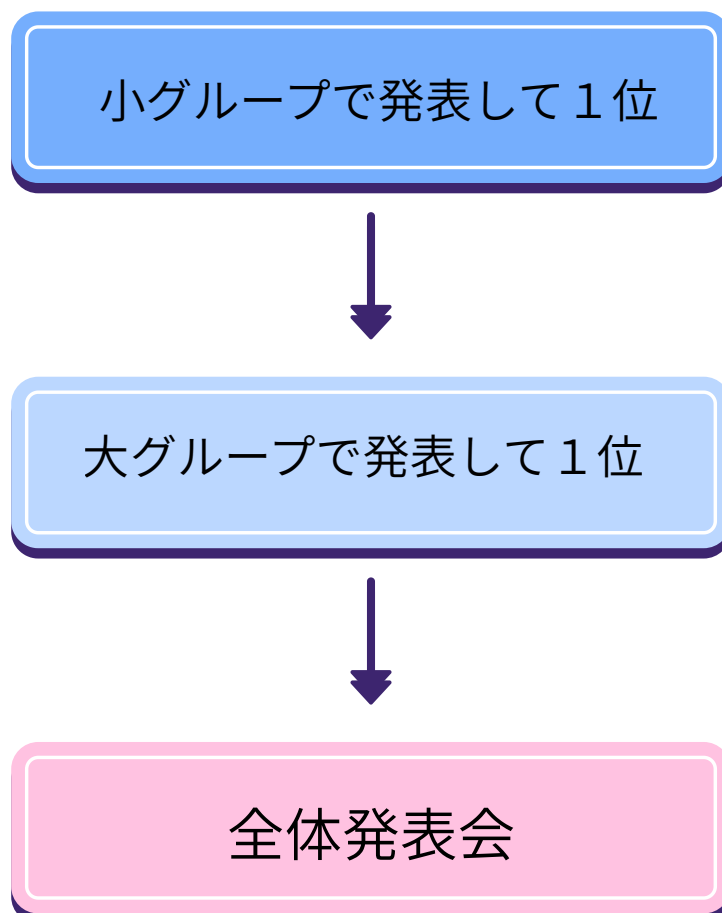
高校生の自分にしかできないテーマを考えてみよう！

Q4：活動は、一人でやるの？グループでやるの？

A4：どちらでも良いです。テーマが同じでも検証する切り口が異なるので
あれば別々でやってもよいかも。

Q5：来年1月の発表は、どんな形でやるの？

A5：「googleスライド」で5～10分で発表します。2年生は昨年も作成
していますので、1年生は先輩に聞いてみてください。



全体発表会で上位3発表は、2月に福島高校で行われる
探究発表会に東高代表として参加します。

Q6：毎回の探究の50分はどのように過ごすの？

A6：探究の先生からアドバイスが書かれたワークシートをもらって、
それを基に活動する。または直接対話して、アドバイスをもらう。

Q7：それでも分からない

A7：図書室に高橋洋充（たかはし ひろみつ）先生がいるので、
聞いてみるとよい。

Q8：Wifiがつながりにくいのですが

A8：探究の時間は、一斉に多くの生徒がWifiにつなげようとするため
つながりにくいです。現在、学校ではポケットWifiを増やすことを
考えています。

探究の時間は、対話の時間とし、調べ学習は自宅でやることも
おすすめです。

Q9：いつインタビューに行けばいいの？

A9：冬休み中や土日、祝日が考えられますが、年末年始は、相手方も
忙しいし、官公庁や企業も休みなので注意が必要です。

それでは素敵な探究ライフを！

